教育委員会（ 2月 ）会議録（要点筆記）						
招 集 年 月 日	令和 7年 2月26日（水）					
招 集 の 場 所	白馬村役場 2階 庁議室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 7年 2月26日（水）午後 1時58分				
	閉 会	令和 7年 2月26日（水）午後 3時25分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	横 川 秀 明	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	松 沢 亨
	委 員	武 田 弥 生	委 員	服 部 知 子		
事 務 局	教 育 次 長	横 川 辰 彦	生涯学習スポーツ課長	松 澤 宏 和	子育て支援課長	内 山 明 子
	公 民 館 長	太 田 洋 一	教 育 係 長	今 井 志 保		

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和7年1月定例会の会議録について

[教育長]

異議なく承認された。

3 報 告

○教育長報告

今月、白馬少年スキー大会(ジャンプ、アルペン)を開催した。クロスは先月。アルペンは小学生を中心に良いレースが出来た。大会関係者に感謝する。

2月20～23日に全国高校選抜スキー大会がスノーハープで開催された。今年は雪が多くて自衛隊等の協力によりコース作りが大変だったが、良い環境で開催された。全国各地から二百数十名の選手でクロスとコンパインの試合が行われた。各校の監督は、オリンピックの会場で、大変良い環境の中で大会が出来ることを感謝していた。今年が2年目だが5年契約なので、継続してこの会場でやってほしいという話があった。

○教育次長報告

例年がない大雪で、学校も除雪機だけでは回らなくなり、建設課の大型の重機で排雪などを度々行っている。屋根雪も、過去には地域の住民の皆さんから雪下ろししていただいたが、高齢化も進んでおり危険なので、地域の方には依頼していない。雪庇が大きくなってきた部分については、高所作業車を使って業者に委託している。

学校の改修については、旧共同調理場の校内教育支援センターが、入札により彦工務店と契約した。現在不要な部分の撤去工事が始まっており、この後電気工事に入る予定。3校校長室エアコン設置は入札により、宮田電気商会と契約した。

○子育て支援課長報告

子育て支援ルームの屋根の雪下ろしを職員で行っている。

現在、来年度の児童クラブや保育園の説明会を開催している。今月も児童クラブに学習支援ボランティアの方に来ていただいた。

子育て施設は、設計事務所の方と打ち合わせを数回開催している。

○生涯学習スポーツ課長報告

1月終わりにスタートした白馬少年スキー大会と高校選抜は、天候によりキャンセルになった種目もあるが、今年はコロナ以来久しぶりに、全大会を無事終了することができた。

青鬼伝建保存活用計画の見直しをしており、今日の午前中に審議会を開催した。3月の教育委員会に報告する。策定以来初の20数年ぶりの見直し。新たな保存活用計画は、今年度中に完成する予定。

○学校の報告

2月17日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、教育係長が報告した。

[委員]北小の時差勤務について説明してほしい

[教育次長]来月の定例教に出す予定。フレックスではない。1日の勤務時間を変えず、ずらすというやり方。フレックスだとコアタイムがあって週の勤務時間を守るが、これは1日の勤務時間自体を変えず、働く時間7時間45分の始まりと終わりを人ごとにずらすもの。お昼の休憩時間は変えない。例えば子どもを送り出すような事情がある場合、勤務を始める時間を少し遅らせ、終わりを長くして、1日の時間は変えないという内容。

[委員]教員は難しくないか。

[教育次長]教員から比較的そういう要望がある。

[委員]すでに中学がやっていたのでは。

[教育次長]実際、個々の学校では、校長の裁量でやっていると思う。今まで明文化されたものがなかったの、今回、明文化したい。フレックスを始めると、校長の管理が非常に大変になるので、それはやりたくない。

[委員]早く来る人に合わせて早く出勤し、遅くなる人に合わせて遅くまで残り、管理職が大変になるのでは。

[教育長]教頭が一番大変になると思う。また、15分刻みで設定されていて細かすぎると思ったが、30分刻みより15分刻みの方が仕事しやすいという話だった。確かに管理の部分が心配ではある。だが、先生方の要望もあり、長野県内でこの形の時差出勤をやっている学校もあるようだ。事務局・校長の考えとしては、来年度この方法でスタートしたい。

[委員]中学から特別支援学級の説明会の資料が出ているが、これは3クラスになるからか。

[教育係長]そうではなく、小学校と中学校が早めに連携を取っていくための資料。確かに特支は1クラス増える予定。

○保育園の報告

2月17日の校長教頭園長合同会議の報告に基づき、子育て支援課長が報告した。

4 議事

○報告第1号 令和7年度学級編制について

[教育次長]南小学校は普通学級が6学級で84人。1学年は7人。特支も合わせて全員で91人。北小学校は、3学年が1学級で、あと残りは2学級ずつ。普通学級が11クラスで246人。特別支援学級は、知障が1、自情障が2クラス。中学校は3学級のクラスがなくなり、各学年2学級ずつで190人。特別支援学級は自情障が3クラスで1クラス増えている。特に今の6年生で6人入級し19人になる。

○承認第4号 区域外就学について

[教育次長]児童3名で、親の仕事の都合で白馬に来ており、3月末まで区域外就学希望等で、それぞれ1月7日から区域外就学を許可した。

・全員賛成で承認された。

○議案第7号 令和6年度準要保護者の追加認定について

[教育次長]遅れて申請が上がって来たので追加である。所得要件等を満たすので認定したい。

・全員賛成で可決された。

○議案第8号 令和6年度就学援助費(新入学用品費)準要保護者の認定について

[教育次長]新入学用品費については2月に支給。中学校に上がる小学6年生については既に認定済みなので、今度小学校に上がる児童について申請を受け付けたもの。それぞれに判定したところ、所得要件等を満たしているので追加の認定をして、小学校の新入学用品費を支給したい。

・全員賛成で可決された。

○議案第9号 区域外就学について

[教育次長]現在、区域外就学で通学している児童。令和7年度についても、引き続き許可したい。住所は大町市だが、保護者の勤務先が白馬村で、就労先への帰宅が理由。期間は4月1日から令和8年3月末まで。

・全員賛成で可決された。

○議案第10号 指定校の変更について

[教育次長]小学校の3年生。5月1日に住所を異動するが、引き続き通いたいもの。保護者の勤務先への帰宅については、状況も変わる可能性があり、1年ごと更新をしていたが、学びの教室に通っている事情も考慮して、卒業まで指定校変更を許可したい。

・全員賛成で可決された。

○議案第11号 白馬村ジャンプ競技場条例の一部を改正する条例に対する意見について

[生涯学習スポーツ課長]ジャンプ競技場のラージヒルの管理は、長野県から白馬村が指定管理者となり白馬観光に委託している。今年が5年に一度の基本協定を見直す年。その基本協定の見直しに合わせ、近年の物価上昇を含めて、料金の増額改定をするもの。

大倉山を始めとする国内のジャンプ競技場の価格を参考に、県と村で協議をした。改定率1.5、50%アップで値上げた。附則で令和7年6月から施行。7年度は入札をし、場合によっては委託業者が代わる可能性もある。代わった場合も考慮して6月1日からの施行にした。ジャンプ競技以外にも専用する場合は、例えば、コンサートで使用するということである。

・全員賛成で可決された。

○議案第12号 白馬村使用料条例の一部を改正する条例に対する意見について

[生涯学習スポーツ課長]スノーハープの料金の改定である。ジャンプ台とスノーハープが国のナショナルトレーニングセンターに指定されている。スノーハープも従来から改定が指摘されており、ジャンプ台と合わせて改正したい。

全てが改定率1.5ではないが、サッカーコートについては一番使用頻度が多く、これも県内の同じような観光地である木島平、大町といった市町村の価格を参考に改めた。新たにスキーコース夏冬、スキーコース10名以上の団体、ウイングにあった機材を入れたトレーニングルームの料金を設定し、利用しやすく改めたもの。スノーハープの管理は、現在スキークラブに委託しており、4月以降もクラブの委託なので、ジャンプ台のように6月からではなく、来年度の最初からこの価格に改めたい。

[委員]ジャンプ台の値上げは理解できるが、クロスカントリー競技場の値上げの理由が納得できない。

[生涯学習スポーツ課長]どの施設も維持管理費が膨大になっており、見合うような使用料になっていない。スノーハープも村の一般財源が非常に多い。入場料が年間100万円もいかず、管理費が非常に高くなっており、利用者の負担も、いつかのタイミングで上げようという話を、かなり前からしてきた経過がある。

・全員賛成で可決された。

○議案第13号 白馬村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に対する意見について

[子育て支援課長]改正の理由は、子ども子育て支援法が施行から10年経過し、そのとき5年間の経過措置

をしていた事柄について、6年度末で期限が到来するために必要な措置をするもの。

第42条の特定教育・保育施設等との連携が経過措置だったが、今回の改正により保育の連携施設等を設置しなくても良いという要件を記載した。その他、文言の変更や条項のずれを直した。附則第4条で、経過措置の期限を10年から5年延長して15年に改める。令和7年4月1日から施行。

・全員賛成で可決された。

○議案第14号 白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に対する意見について

[子育て支援課長]同じ法律の経過措置の部分になるもの。

第6条保育所等との連携施設を設置しなければならなかったが、設置しなくても良い要件について追加された。第16条食事の提供の特例で、栄養士法が改定になり、今まで管理栄養士になるには、栄養士の免許を持っていなければ、管理栄養士の試験を受けられなかったが、管理栄養士の養成学校を卒業した者は、栄養士の免許を持たなくても管理栄養士の試験を受けられるようになったため、栄養士を栄養士または管理栄養士に変更した。附則の第3条は、経過措置が10年から15年になり、令和7年4月1日からの施行。

・全員賛成で可決された。

○議案第15号 令和6年度白馬村一般会計補正予算(第9号)教育予算に対する意見について

・教育次長、子育て支援課長、生涯学習スポーツ課長が、それぞれ主管課の補正予算について、資料に基づき説明した(給食センター賄材料費、北小水道料、健康カルテ電算委託料、空手全国大会奨励金等)

・全員賛成で承認された。

○議案第16号 令和7年度白馬村一般会計予算(教育予算)に対する意見について

・教育次長、子育て支援課長、生涯学習スポーツ課長が、「令和7年度版ざっくりわかる白馬村の予算(教育委員会事務局)」に基づき、教育委員会事務局の予算規模、性質別特徴も含めて、それぞれ主管課の当初予算の重点事業について説明した(子育て支援施設建設事業、しろま保育園ICT化導入、給食費の減額、スクールバスの期間延長、ジャンプ競技場降雪機更新、青鬼神社補修補助、ウイング21空調・スプリンクラー更新等)。

[委員]以前、給食費の削減とスクールバスの運用の、どっちに重きを置くかという話しになったが、今回、スクールバスの期間が年間ほとんどになり、スクールバスに重点を置いたように見える。その理由は。

[教育次長]村長は、4月から3月の年間でも良いという考えがあった。どちらかという学校、現場サイドから4・5月歩かせたいとの声があり、6月からになった。給食費も近隣の格差があり、そこを縮めたいとは、村長も議会で言っている。払う分の半分ぐらいまでを村が出せば、格差も縮まり、予算は大体40%ぐらいでも、決算を打てば大体50%近くになる想定で予算を組んだ。

[委員]準要・特支の640万円は、小中同じくらいの人数か。

[教育次長]対象者も変わるし、そうではない。

[委員]国は、小学校だけ無料にしそうだが、そうすると、ここでの負担は減るのか。

[教育次長]国が無償化にすれば、準要・特支の小学生分は払わなくなる。概要が示されておらず、まだ詳細は不明だが、おそらく国は、1食いくらの基準額を設けるはず。そうすると村の持ち出しが出ると思う。

[教育長]賄い材料費は、給食センターによって差が出る。どこまで国が負担してくれるかが問題。大北の市町村によっても賄い材料費1人当たり若干差がある。市町村によって地産地消やオーガニックを使うと高くなる。今後、国の政策との絡みで、補助額は変わる。

[委員]スノーハープの利用者負担は、先ほどの使用料改定の金額を勘案しての金額か。

[教育長]そう。今年は150万円いかない。値上げした分、261万円を予算を組み立てた。ジャンプ台も同様にリフト代が値上がりしたことで、2,182万円を利用者負担で予算化した。

[委員]スクールバスは、通年で5,200万円くらいと記憶しているが、4・5月徒歩通学期間で予算が1,000万円くらい削られたのか。

[教育次長]見積もり段階で価格の変動があった。単価が上がり、日数も精査した。
 [委員]単純に日数で割ると、1日25万円くらいかかっている。高額だが、これは入札か。
 [教育次長]指名競争入札だが、業者が限られている。バスだと2業者しかない。タクシーは3業者だけ。
 [教育長]保護者に丁寧に説明して理解をしてもらうことが大切。
 [委員]何%ぐらいの子が利用しているか。
 [教育係長]小中3校合わせて150人弱が利用。計算すると27%なので30%弱。
 [教育長]3、5キロの線引きも非常に難しい。スクールバスの利用についても、北小と南小では温度差がある。ぜひ使いたいのとぜひ歩かせたいという保護者が居ることは事実。
 [委員]保護者の声が大切だと思う。
 [教育長]保護者アンケートでは、比較的感謝の結果が出ているが、もっと対象者を広げてほしい、時間も余裕を持ってほしいといった意見もある。来年度から、通年運行ではないが6月から始めるようになるので、もう一度保護者の意見を聞いた上で、いずれ通年運行せざるを得ない状況も出て来るかとも思う。財政当局とも相談しながら、保護者の意見を重視し、どういう方向がいいかまた考えていきたい。
 ・全員賛成で承認された。

○議案第17号 白馬村立小・中学校卒業式の告辞について

[教育次長]小学校と中学校の告辞であり、北小学校については職務代理に代読をお願いしたい。
 ・全員賛成で可決された。

5 その他

・3月の日程について

[教育次長]資料により説明。

次回定例会日程案

令和7年3月28日(金)午後1時半から。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	